

(8月10日付け発表)

平成28年 8月10日
九州地方整備局
山国川河川事務所

**「第2回 山国川水系水防災意識社会推進協議会」
を開催します。**

～大規模水害にそなえた「山国川の減災に係る取組方針」の策定～

山国川の大規模水害に備え、河川整備や防災情報提供、防災教育、訓練などのハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進するため、中津市、吉富町、上毛町、大分県、福岡県、気象庁大分地方气象台、国土交通省山国川河川事務所からなる『山国川水系水防災意識社会推進協議会』を平成28年3月28日に設立しました。

この第1回協議会において、山国川の減災に向けた取組目標を共有し、その後の幹事会において取組方針の策定に向けた議論を進めてきました。

これらを踏まえ、この度、『第2回 山国川水系水防災意識社会推進協議会』を開催し、関係機関が連携して概ね5年間で実施する「山国川の減災に係る取組方針」を取りまとめます。

1. 日 時 平成28年8月18日(木) 10:00～11:00(予定)

2. 場 所 山国川河川事務所 2階会議室

3. 出席予定者

中津市長、吉富町長、上毛町長
大分県、福岡県
大分地方气象台長、山国川河川事務所長

4. 取材について

報道機関へのみの公開となります。
テレビカメラ等による撮影は、意見交換の妨げにならないように
ご配慮願います。

【 問い合わせ先 】

国土交通省 九州地方整備局 山国川河川事務所

TEL (0979) 24-0571 (代表)

技術副所長 篠原 昌秀 (しのはらまさひで)

調査課長 目床 順司 (めとこじゅんじ)

補足資料

平成28年8月17日
九州地方整備局
山国川河川事務所

- 山国川の氾濫時に想定される主な課題として、
 - ・急流河川で水位上昇速度が早く、また、川沿いの道路浸水により避難所の孤立や避難経路が寸断される恐れがある
 - ・下流部では堤防が決壊した場合は洪水が広範囲に広がる恐れがあるが、大規模な浸水被害の経験が無く、防災意識の低下が懸念される
 - ・観光客が多く、情報伝達、迅速な避難がなされない恐れがある
- これらを踏まえ、「山国川の減災に係る取組方針」を策定する

山国川の大規模災害に備え、共同で減災計画を策定

- 山国川の大規模災害に備え、国県の河川管理者と流域の中津市、吉富町、上毛町が共同で、「山国川の減災に係る取組方針」を策定
- 山国川の流域の市町や国県でつくる「山国川水系水防災意識社会推進協議会」は8月18日、山国川河川事務所、大規模水災害に備えた減災への取組方針を定める

ハード・ソフト一体の対策で、市町・県・国が共同の減災対策を、山国川でつくるのは初めて

- 山国川流域の中津市・吉富町・上毛町と河川管理者の国・県が、大規模水害に備えた、山国川全体のハード・ソフト一体の減災計画を、共同で策定するのは、山国川では初めての事

今後、毎年出水期前に協議会を開催し、進展状況を確認する

- 今後、毎年出水期前に協議会を開催し、取組の進捗状況の確認や必要な見直し、フォローアップを行っていく